

▼ペリシット錠 [内] (202403 販売中止)

【重要度】★★ 【一般製剤名】ニセリトロール niceritrol 【分類】脂質代謝・末梢循環改善剤

【単位】▼125mg・▼250mg/錠

【常用量】750mg/日

【用法】分3

【透析患者への投与方法】透析患者に250～750mg/日を投与し、低HDL-C血症を改善する作用やリン低下作用が示されているが、消化器症状や血小板減少の副作用報告も多く注意が必要である(5) 血中動態を示した報告からも減量の必要性があると思われる(5) 250mg投与でHDL-Cの上昇作用、375mgで血清リン値低下作用が認められるという学会報告もある(5)

【その他の報告】透析患者には血小板減少、貧血が起りやすいため慎重投与(1)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr>50mL/min:減量の必要なし、Ccr10～50mL/min:250mgを1日2回、Ccr<10mL/min:250mgを1日1回(5)

【特徴】ニコチン酸のプロドラッグ。高脂血症に用いられる。また、脂質代謝異常血管拡張作用もあり、ビュルガー病、閉塞性動脈硬化症、レイノー病及びレイノー症候群における末梢循環障害の改善に適用される。さらに血清無機リン濃度を低下させる作用を持つため、透析患者の高リン血症治療に応用(日腎会誌40:1-7,1998)されていたが、血小板減少の発現頻度が高いことが難点である。

【主な副作用・毒性】血小板減少、潮紅(発赤)、発疹、熱感、蕁麻疹、めまい、食欲不振、嘔気、下痢、肝機能異常、動悸など

【安全性に関する情報】空腹時服用では潮紅、熱感等が発現しやすくなるので食後に服用する(1) 透析療法を受けている患者において、血小板減少があらわれることがある(1)

【吸収】吸収率86% [ラット] (1)

【tmax】2hr (1)

【代謝】未変化体はCYP3A4を阻害するが、ニコチン酸にはその活性なし(1)

【排泄】尿中にはニコチン酸、ニコチヌル酸、ニコチン酸アミド、N-メチルニコチン酸アミド、2-ピリドン体が排泄され、尿中回収率32% [24hrまで] (1) ニコチン酸として8.7%尿中排泄(1)

【t1/2】2.4hr (1)

【蛋白結合率】未変化体は20～60%で濃度依存的 [BSA] (1)

【Vd】資料なし(1)

【MW】556.52

【透析性】血清ニコチン酸濃度は透析により27～80%低下する(日腎会誌28:105,1996) 資料なし(1)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない【O/W係数】資料なし(1)

【効果発現時間】約1hr (1)

【効果持続時間】6hr以上(1)

【備考】重症低血圧または動脈出血のある患者には禁忌。

【更新日】20231113

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。